

中村ふみたかが、この4年間で実現したことの一部です。

実現例1.

一つずつ、確実に市の行政を改善しています。

- 市税等のクレジットカード収納の開始 (H21.4月より)
- 人事評価制度の導入と職員研修の充実、他

実現例2.

子供たちのための環境づくりと、子育て支援を充実させています。

- 子育てママ、パパを手助けする「子ども課」の創設、「子育てガイド」の発刊、他

実現例3.

人口誘致・定住推進政策を実施しています。

- 移住交流促進事業「射水で待っとるちゃ!」

実現例4.

自分たちのまちは自分たちで創る、市民協働に向けて動き始めました。

- 平成22年度には地域振興会が射水市内27地区全てに展開。それぞれの自分たちのまちづくりが始まっています。

中村ふみたかが、市政2期目に挑む7つのポイント。

- 1 「自分たちのまちは自分たちで創る。」がスタート!**
より実効性のある市民協働を実現します。
地域住民がしっかり活動できるよう「まちづくり基本条例」を制定し、実行します。
- 2 子育てしやすい環境を創ります。**
より安全で充実した子育て環境を整備
教育予算を確保し、子育て支援策を充実させます。
- 3 スピード感とコスト意識を持った行政システムに変えます。**
行政評価の導入と事業仕分けの実施
市の事業を見直し、選択と集中により徹底的に市政の無駄を排除します。
- 4 議会で建設的な政策論争をします。**
ローカルマニフェスト導入による議会の活性化
市民の皆さんのための妥協を許さない政策論争を行います。

- 5 徹底的に市政を情報公開します。**
事業ごとの行政コスト等、市政のあらゆることを市民の皆さんに明らかにし、積極的にお知らせして説明責任を果たします。
- 6 将来を見据えた庁舎問題の解決。**
統合庁舎建設問題の解決と一体感の醸成より正確なデータの提示を基にし、20年先を見越した政策提言を行い、市民の皆さんの意見を市政に反映します。
- 7 射水から富山を変え日本を変える。**
富山県で3番目、北陸で7番目の人口を有する射水市。射水市独自の政策により、積極的に変化を創り出し、生まれ変わらせませす。

私のブログも読んで下さい!
出来る限り毎日更新!

- ・市政に関するご意見、ご希望、その他何でもお気軽にお問い合わせ下さい。
- ・市政報告いたします。一人からでもかまいません。いつでもお申し込み下さい。

事務所:〒939-0341 射水市三ヶ常盤町3304

■TEL/FAX 0766-55-0063 ■<http://fumitaka05.exblog.jp/>



中村ふみたか市政だより

2009.10.20

ふみたかPRESS Vol.7

発行人：射水市議会議員

中村文隆

事務所：射水市三ヶ常盤町3304



ブレない!逃げない!ごまかさない!

中村ふみたかが 2期目に向けて力強く発進!!

中村ふみたかの 市政報告会が始まる!!

4年間の実績を自信に、第二期出馬を表明した「中村ふみたか」からのメッセージ!

射水が好きだから、
もっともっと住みよい
まちにしたい!



新生・射水市の市議会議員として、あっという間に四年間を駆け抜けました。特に大切と考え強く関心を持つ教育行政での「子ども課」の創設など、様々な行政改革を実現。しかし新生・射水市の一体感の醸成という大目標は、未だ達成の途上であり、市議二期目に挑戦すべく決意を新たに致しました。皆様のご理解・お力添えをお願いします。



Q&A 中村ふみたかは射水市政をこう考えます。

Q1. 今回から市議会議員は旧市町村別ではなく市全体から選出されることになりましたが、これまでと何か違いがあるのでしょうか?

A1. これまでとは議員の役割が違います。前回の選挙時に既にお話させていたようにみなさんの地域で地域振興会が立ち上がり(22年度中に全ての自治会で)、「自分たちのまちは自分たちでつくる」時が来ました。確かに地域振興会の体制はまだまだですが、今後まちづくり条例等を制定することによって権限と予算の委譲が可能となり、より実効性のある地域振興会としていくことができます。そうなれば、地域の課題は地域の人々自らで解決できることとなり、議員の地域代表としての役割は極めて小さくなります。これからの議員は、射水市全体のシステム、例えば、教育や福祉、財政など**将来を決める政策立案能力と行政をチェックする鋭い視点**が求めら

れることとなり、益々議員の質が問われるようになります。射水市は今や10万都市であり、富山、高岡に次ぐ富山県で3番目、北陸3県で7番目の市なのです。その大きさに見合った議員が求められています。

Q2. その求められる議員の資質として他の具体例はありますか?

A2. 例えば議会での質問の仕方です。本会議や委員会での質問のあり方については、以前から何度も述べてきました。本会議や委員会での質問は、世間における一般的な質疑応答とは性質が違い、自分が「知らないことは聞かない」ことが基本的に必要だと私は考えています。あらかじめ**自分で調べれば直ぐにわかることを聞くのは、時間の無駄**であり、つまりは税金の無駄使いです。何故なら、その本会議・委員会での時間は、それに関わ

る多くの職員の人件費やCATV放映料など、高額なコストがかかっているのですから。ゆえに、単に数字を聞いたり、制度を聞いたり、市政の現在の状況や今後の計画を聞いたりするだけの質問は、現在の本会議での代表・一般質問のように、事前の質問を当局に通告し、あらかじめ用意された原稿をお互いに読み合うという一種セレモニー化した、悪く言えば「やらせ」ではないかと揶揄されることもある本会議では、特に慎むべきであると考えます。議員たるもの知らないこと、分からないことは事前に調べ、十分な調査研究に裏打ちされた自身の論理を基に、**当局の政策や意向を問い質し、政策の見直しや変更をさせたり、議員の新たな政策提案をしたりすることが、議会での質問のあり方**であるはず。私はこの4年間で**約50の政策提案**を行いました。子ども課の創設や移住交流促進事業「射水で待つとるちゃ!」、クレジットカードでの市税納入、人事評価の導入や行政評価の試行などはその実現例です。現在、市の議会だよりでは本会議での代表・一般質問しか掲載されていません。市民の皆さんには、CATVで放送される、一問一答式で質疑される**予算特別委員会**を是非ご覧いただき、議員の資質を見極めて頂きたいと思ひます。

Q3. それでは、現状の射水市の問題点をどう考えていますか。

A3. 合併して4年が経ち、この間みなさんからよく言われることが「合併したのに全然よくなってないぞ」というものです。当初から新市が軌道に乗るまでには10年がかかると思いましたが、事実、**現在の射水市政は10万都市としてはまだまだ力不足**だと私は感じています。つい最近まで小さな市町村だったものが集まって大きくなっただけなので、当たり前と言えは当たり前です。職員の能力も急に高くなるはずありません。だからこそ私は射水市誕生後の本格的に事業が組まれる最初の議会(H18年3月)で職員研修の充実を提案しました。係長クラス以下の若い職員がこの10年でしっかりとした職員研

本気で射水を変えられるのは中村さんしかいません。

海内 孝之 (南太閤山14丁目)

「中村さんってどんな人?」と聞かれると、私は自信をもって「**正直な人**」と答えます。接したことのある人なら、「嘘がつけない、まっすぐな人」とみんな言うでしょう。政治不信が言われる今、私たちが必要としているのは中村さんのような「正直な人」だと思います。「自分たちのまちは自分たちで創る」射水市が誕生したときの熱い思いは全く変わりません。住民のため、子供たちのため、お年寄りのため…、議会で積極的に発言し、果敢に行動し、「子ども課の創設」はじめ多くが実現しています。議員として一生懸命走り続け、そして、子供たちと接するときの笑顔がとても素敵な中村さん。「**本気で射水を変える**」という中村さんに大きく期待しています。

修を受け、自ら努力することによって、10万都市に見合った行政能力を身につけてこそ、富山、高岡とは一味違うキラリと光る射水市にふさわしいまちづくりができるようになるはず。それは私たち議員や市長、そして市民のみなさんにも当てはまることで、10万都市の議員、市長、そして市民として**これまでの常識にとらわれない意識**

改革やまちづくりの力を切磋琢磨しながら養っていく必要があります。まさしく「**本気でやれば射水は変わる。**」のです。

